

E812 簡易操作ガイド

・この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。

・充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。  E812 取扱説明書

各部の名称



・モデルによってデザインが異なります。

モードを切り替える

4つのモード、[TME](時刻 / カレンダー)、[CHR](クロノグラフ / 基準位置修正)、[L-TM](ローカルタイム)、[ALM](アラーム)を切り替えます。

1. りゅうずの位置を **0** にする
2. りゅうずを回す
モード針が動き、モードが切り替わります。

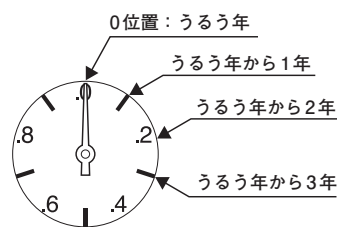
時刻を合わせる

1. りゅうずの位置を **0** にする
2. りゅうずを回して、モード針を [TME] (時刻 / カレンダー) に合わせる
3. りゅうずの位置を **2** にする
秒針が 0 秒に移動して、止まります。
4. りゅうずを回して、時刻を合わせる
 - ・24 時間針を見て、午前 / 午後の違いに注意します。
 - ・りゅうずを素早く回転させると、針が連続して回転します。りゅうずを少し回すと止まります。
5. 時報に合わせて、りゅうずの位置を **0** にする
秒針が動きはじめます。

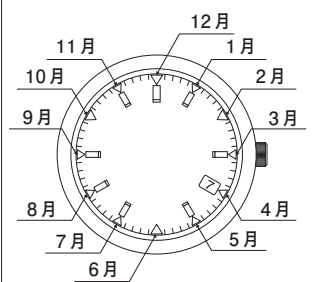
カレンダーを合わせる

1. りゅうずの位置を **0** にする
2. りゅうずを回して、モード針を [TME] (時刻 / カレンダー) に合わせる
3. りゅうずの位置を **1** にする
現在の年と月の設定が表示されます。
機能針：うるう年からの経過年
秒針：月
4. りゅうずを左に回して、日表示を合わせる
 - ・りゅうずを素早く回転させると、日表示が連続して回転します。りゅうずを少し回すと止まります。
 - ・存在しない日に合わせると、操作終了後、翌月の 1 日に日表示が切り替わります。
5. **A** ボタンをくり返し押して、年を合わせる
 - ・下図を参考に、機能針を合わせます。
 - ・うるう年経過年早見表は、サポートの「仕様・機能・購入」をご参照ください。
<http://citizen.jp/cs/guide/index.html>
6. **B** ボタンをくり返し押して、月を合わせる
 - ・下図を参考に、秒針を合わせます。
7. りゅうずの位置を **0** にする
秒針が現在の秒まで移動して、動きはじめます。

経過年の位置 (機能針)



各月の位置 (秒針)



クロノグラフを使う

- ・1/20 秒単位、最大 60 分まで使用できます。
 - ・クロノグラフ使用中も、時計針、分針、24 時間針は、通常に動作します。
1. りゅうずの位置を **0** にする
 2. りゅうずを回して、モード針を [CHR] (クロノグラフ) に合わせる
クロノグラフ秒針が 0 秒に、クロノグラフ分針が 0 分に移動して、止まります。
- スタート/ストップ：**A** ボタンを押します。
- ・ストップ中に **B** ボタンを押し続けると、クロノグラフ分針が、1/20 秒の位を表示します。ボタンを離すと戻ります。
- リセット：ストップ中に、**A** ボタンを押し続けます。クロノグラフ終了後は、必ずリセットを行ってください。

ローカルタイムを使う

モードを [L-TM](ローカルタイム) にすると、他の地域の時刻が表示されます。

- [TME](時刻 / カレンダー) の時刻を基準に、± 23 時間の範囲 (1 時間単位) で、時差を設定します。
- 分針と秒針は、[TME](時刻 / カレンダー) と共通です。

ローカルタイムを表示する

1. りゅうずの位置を [0] にする
2. りゅうずを回して、モード針を [L-TM] (ローカルタイム) に合わせる
ローカルタイムが表示されます。

時差の設定を変更する

1. モード針が [L-TM] (ローカルタイム) を指しているときに、りゅうずの位置を [2] にする
2. りゅうずを回して、時差を設定する
 - 時差の範囲がマイナスのときは、りゅうずを左に回します。プラスのときは、りゅうずを右に回します。
 - 設定中に時針が午前 0 時を通過すると、日表示が切り替わります。日表示の切り替わりには、若干時間がかかります。
3. りゅうずの位置を [0] にする

アラームを使う

1. りゅうずの位置を [0] にする
2. りゅうずを回して、モード針を [ALM] (アラーム) に合わせる
時針、分針、24 時間針が現在のアラーム設定時刻を示し、秒針が現在のアラーム設定 (ON/OFF) を示します。
3. りゅうずの位置を [2] にする
アラーム設定が自動的に「ON」になります。
4. りゅうずを回して、アラーム時刻を設定する
 - アラーム時刻の午前午後の区別は、24 時間針で確認します。
 - りゅうずを素早く回転させると、針が連続して動きます。りゅうずを少し回すと止まります。
 - アラーム時刻は、ローカルタイムに合わせて設定することはできません。
5. りゅうずの位置を [0] にする

アラームの ON/OFF を切り替えるには

[ALM](アラーム) モードで、りゅうずの位置を [1] または [2] にして、**A** ボタンを押します。

アラーム音をとめるときは

- **A** ボタンまたは **B** ボタンを押します。
- アラーム音は、15 秒間鳴ります。

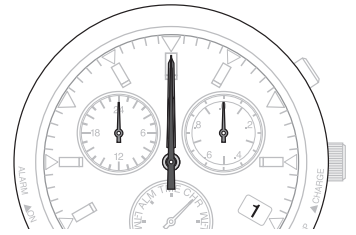
アラーム音を確認する

[ALM](アラーム) モードで、りゅうずの位置が [0] のとき、**A** ボタンを押すと、アラーム音を確認することができます。

基準位置を確認する

1. りゅうずの位置を [0] にする
2. りゅうずを回して、モード針を [CHR] (クロノグラフ) に合わせる
3. りゅうずの位置を [1] にする
各針が高速で動き出し、現在の基準位置が表示されます。
 - 正しい基準位置:
すべての針が 12 時位置、日表示が「1」

現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。



4. りゅうずの位置を [0] にする

基準位置を修正する

時針、分針、秒針、24 時間針の修正

1. りゅうずの位置を [0] にする
2. りゅうずを回して、モード針を [CHR] (クロノグラフ) に合わせる
3. りゅうずの位置を [2] にする
4. **A** ボタンを押して、秒針を合わせる
5. りゅうずを回して、時針、分針、24 時間針を合わせる
 - りゅうずを素早く回転させると、針が連続して回転します。りゅうずを少し回すと止まります。
6. りゅうずの位置を [0] にする

機能針と日表示の修正

1. りゅうずの位置を [0] にする
2. りゅうずを回して、モード針を [CHR] (クロノグラフ) に合わせる
3. りゅうずの位置を [1] にする
4. りゅうずを左に回して、日表示を合わせる
 - りゅうずを素早く回転させると、日表示が連続して回転します。りゅうずを少し回すと止まります。
 - 機能針の正しい基準位置は、日表示が 1 日に変わった直後の 12 時位置です。
日表示を 31 日まで進め、その後 **A** ボタンを押しながら小刻みに修正し、日表示が 1 日に変わったことを確認してから、機能針を 12 時位置に合せます。
5. りゅうずの位置を [0] にする

オールリセットを行う

1. りゅうずの位置を [0] にする
2. りゅうずを回して、モード針を [CHR] (クロノグラフ) に合わせる
3. りゅうずの位置を [2] にする
すべての針と日表示が、現在の基準位置に移動します。
4. **A** ボタンと **B** ボタンを同時に押す
確認音が鳴り、各針がデモ運針をして、オールリセットが行われたことを示します。

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置、時刻、カレンダーを合わせ直してください。ローカルタイム、アラームの設定も行ってください。